

人と人を結ぶ情報紙

ふくしま

発行 福島民友新聞社
Vol.70 2013 10月号

ゆう



今月の夢追い人

ユミソン さん

国内外で活動する32組のアーティストが、土湯温泉町の豊かな自然を背景に、旅館跡地や使われなくなった社員寮などに作品を展示し、来場者が自由に見て回ることが出来る芸術祭「土湯アラウドアートアニニアル2013」が10月14日まで

開催中です。期間中は、作品展示のほか実際に体験できるワークショップや、トークショーなどさまざまな催しが開かれます。総合ディレクターを務めるユミソンさんに芸術祭開催の経緯や、見どころについてお聞きしました。

折込&設置

8万部発行

「ふくしま・ゆう」は福島・県北地区の福島民友新聞と読売新聞に折り込まれています。

- 毎月最終金曜日発行
- ご購入のお申込みは ☎0120-152-214まで



今月の夢追い人
土湯アラフド
アートアンニアル2013
総合ディレクター
ユミソン
さん

土湯温泉町に 新たな価値を創造

「土湯アラフドアート
アンニアル」（以下アラ
フド）の「あらふど」は、
新雪を踏み固め、道筋を
つくる、という土湯の方
言です。「アンニアル」
は年に1度と訳し、「土
湯温泉の未来を切り開く
年に1度の芸術祭」とい
う意味が込められていま
す。

開催のきっかけは、震
災で3分の1の旅館が廃
業した土湯温泉町の土湯
温泉青年部が、町に新た



な価値を創ることはでき
ないか、と立ち上がった
ことでした。地域活性化
に取り組む中で、過疎化
が進む群馬県中之条町が、
2年に1度アートフェス
ティバル「中之条ビエン
ナーレ」を開催し、町に
活気を取り戻したことを
知り、土湯でも同じよう
な芸術祭ができないかと
考えたのです。

私は初め、アーティス
トの一人として作品を出
品しようと考えていまし
た。制作にあたり「まず
はこの町のことを知らな
ければ」と、昨年8月か
ら毎月、この町を訪れる
ようになりま
した。

そこで感じ

たことは、「土
湯温泉町は、
津波被害があ
ったわけでも
放射線量が高
いわけでもあ
りません。風
評で旅館は閉
鎖に追い込ま
れ、景色は一
変し、ここに
暮らす人たち
の生活も変化
を求められて

いる」ということです。
この事実には、自分は芸術
家としてどう関わればい
いのか、とても考えさせ
られました。

アーティストから ディレクターへ

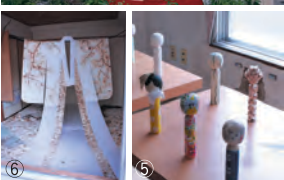
訪れる回数が増えるに
つれ、いつのまにか私が
参加アーティストの中で
一番、この町、ここに暮
らす人たちを知るようにな
っていました。ある時、
「芸術祭を取り仕切る総
合ディレクターがいな
いのでやつてもらえないか」
と依頼されました。初め
ての経験で不安もありま
したが、この町を知った
ことで「やつてみようか
な」と思いました。

引き受けたものの、最
初は何から始めたらいい
のか分かりませんでした。
予算はどれくらい必要な
のか、どのような作品を
展示するか、この地に新
たな価値を創るには。ゼ
ロからのスタートでした。
苦労はありましたが、地
元のみなさんが、さまざ
まな形で協力してくれま
した。イベントを作り上
げるダイナミズムが味わ

え、私にとってかけがえ
のない体験となりました。

町内15カ所が 現代アートに

出品作品は、自然豊か
な土湯温泉町内の15カ所
に点在しています。平面
や立体、場所を持たない
プロジェクト型の作品、
伝統の土湯こけしを題材
にしたインスタレーショ
ン（展示空間内、全てを
含めて作品とする表現手
法）などさまざまです。
観光案内所で、展示場所
が書かれたマップをもら
えますので、温泉街を散
策しながらゆっくり巡っ
てもらえたらと思います。
参加アーティストを選
ぶ際に大事にしたことは、
現代美術としての完成度、



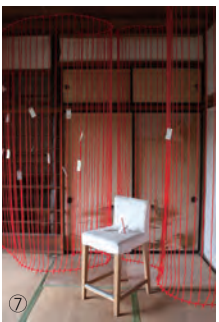
①山本高之「スプーン曲げを教える」 ②清水総二「土湯俯瞰図」 ③葛谷允宏「開墾パ
ーティー発酵レシピ」 ④SUIKO「無題」 ⑤「現代芸術家こけし絵付け」 ⑥水川千春「土
湯」 ⑦松枝美奈子「赤の庵」

そして、来場者が作品と
関わりを持つとうとすれば
するほど、見る側に訴え
かける作品かどうか、こ
の2点を基準に選びまし
た。どれもレベルの高い
作品ばかりです。

実際にアートを体験で
きるワークショップもあ
ります。土湯こけしを、
木材の切り出しから自分
で作るワークショップは、
完成まで工人が付きつき
りて教えてくれるという、
他ではできない貴重な体
験ができます。私も実際
やってみました。私、なか
なかな思うようにいかず、

作品と向き合い 対話を楽しもう

「アラフド」は普通の
お祭りのように、行って
すぐに気分が高揚するよ
うな祭りではありません。



一見、奇妙に見える出品作品は、私たちが作品に問いかけない限り、答えては返ってきません。意味が分からないままです。問いかけることで初めて作品との対話が可能になるのです。それがいつか、作品を超え、土湯温泉町の景色や、町の現状に對

しても、同じように問いかけること、それが、土湯温泉町の未来へつながると私は考えています。私はこの芸術祭を通して、「私たちが何を知って、何を知っていないか、何を見て、何を見ていないのか、何を聞いて、何を聞いていないのか、誰



山田浩之「つち大根」。まつや物産店の店先では、大根を模した信楽焼の作品が1本1万円で販売されている。美術品がこの価格で買えるなんて安いと思う人もいれば、無人販売で売っている物に1万円は高いと思う人もいる。人によって価値観は違うことに気付かされる

に触れて、誰に触れていないのか」を考えるきっかけにしてほしいと思います。

継承していくことで、文化は形成され、それが新たな価値となります。一回きりで終わらせず、来年、再来年と継続的に「アラフド」を開催して初めて、土湯温泉町の文化の一つになると私は思っていますし、また、そうしていききたいですね。

この土地の人と 思いを共有

この1年間、土湯温泉町と関わる中で、私が地域の皆さんに抱いた印象

は、ここに暮らす人たちは、周りの人たちのことをいつも気に掛け合っているということです。

初めて訪れてから、何度も足を運ぶようになる。とお昼を差し入れてくれたり、「アラフド」のことを知らずに土湯へやって来た観光客に、宣伝してくれる人もいました。このように、この町の今の状況を、悲観せずに考えたいと思ってる人たちが少なからずいます。私もその思いに応えられるよう、この土湯温泉町で、レベルの高い現代アートを毎年見せることができよう、続けていききたいと思っています。

土湯アラフドアートアニュアル 2013《入場無料》

土湯温泉町で行われる初めての芸術祭

10/14 (祝・月) まで開催中!

開館時間／9:00～17:00

会場／土湯温泉町各所

休館日／各会場による(屋外・廃旅館等は休館日なし)

アクセス／福島駅東口バスターミナル(7番乗り場)より

福島交通『土湯温泉行き』乗車、終点土湯温泉下車

主な企画／現代芸術家による作品展示、ワークショップ・自然科学研究者らと芸術家の協働での茶室によるおもてなし、伝統の土湯こけし工人のワークショップ、原郷のこけし群西田記念館との共同企画・現代芸術家によるこけし絵付け展示 ほか

HP <http://arafudo.net>

Profile

ユミソン さん

「土湯アラフドアートアニュアル2013」総合ディレクター。インスタレーションアートの分野で活躍する現代美術家で、全国各地のアートイベントや個展などで作品を発表している。共通するテーマは「時間と場所」。「今私たちはどのように生きているのか、何を見てどこにいるのか」を見た人に問いかけ、自分自身も考えながら活動している。現在、群馬県で開催中の芸術祭「中之条ピエンナーレ」では10月4・5日の2日間「こんにやく会議」と題した参加型プロジェクトを行う他、11月11日から中京大学(名古屋市) シースクエアで個展を行う。

